

平成30年度 北海道「体験の風をおこそう」運動推進事業

「北海道子どもキャンプ」(H30.8.9(木)~12(日))

2018 北海道 子どもキャンプ 森の王国 作ろう

日時 平成30年 8月 9日(木)~12日(日)

募集期間 平成30年 6月25日(月)9時より 7月20日(金)17時まで

日 時	子どもキャンプ(8月9日、11、12日(日)) 2日3日 リーダー研修(8月9、10、11、12日(日)) 3日4日	募集人数	250名
場 所	国立大倉青少年交流の家	参加費	子どもキャンプ(2日3日) 3,000円 リーダー研修(3日4日) 無 料
参加対象	子どもキャンプ:小中学生・高校生 リーダー研修:高校生~3年生	費用・申し込み	子どもキャンプ(小学生) 2,430円 中学生以上 4,010円 リーダー研修(高校生スタッフ) 5,600円 引当金・復学費 2日3日 4,010円 3日4日 5,600円

目的

北海道各地域で活動する子どもたちが一堂に会し、異年齢での共同生活や、自然体験、創作活動、など多様な体験活動とともに、高校生リーダーは、小中学生に対して活動や生活の支援を行うなど、日頃の活動の成果を発揮する事により、異年齢交流の促進と技術の取得、リーダーの資質向上を図り、地域の未来を担う青少年の健全育成に資する。

申込時の申請により北海道子ども会リーダーの単位認定(実技)を行う。

参加実績(募集250名)

参加195名(スタッフ22名を含む)

【校種別】

- ・小学生139名(男子59名、女子80名)
- ・中学生13名((男子10名、女子3名)
- ・中等教育学校生4名(男子2名、女子2名)
- ・高校生16名(男子5名、女子11名)
- ・専門学校生1名

【地域別】

- 札幌23、帯広15、新篠津13、白老11、苫小牧11、士別9、鷹栖9、斜里8、新ひだか8、上川7、富良野7、恵庭7、別海7、枝幸6、蘭越6、余市4、旭川3、千歳3、八雲3、中標津2、美唄2、平取2、幌延2、室蘭2、芽室2、占冠1、安平1、月形1、新冠1、紋別1

プログラム

【事業前日】開会式・出会いの集い・講話(リーダーの心得)

中学生の活動サポートをする高校生リーダーの研修会を行った。全道各地で地元の子ども会活動に係わっている高校生が、今回の事業に向けての意気込みや、活動のねらい等について話し合い、それぞれの役割や留意点について共有した。

開会式・出会いの集い・・・90分

全道各地から集まった参加者の小中学生が、事業のねらい、活動内容、施設利用の注意点などについて、説明を受けた。

また、班ごとに自己紹介、名札作り、個人目標の設定、横断幕制作を行いながら、キャンプに向けての期待感を高めた。

交流の集い(班別)・・・90分

高校生リーダーが中心となって、全体でゲームを行い、参加者が全道各地から集まっていることを実感しながら、キャンプへの意識をさらに高めた。



班会議（王国設計図作成）・・・120分

前半は、建設業の専門家の立場から、清水建設北海道支店の方々による製作についてのアドバイスを受け、翌日から製作する建物の設計図を班ごとに作成。高校生リーダーが進行役となって、どの班も意欲的に話し合いを進めていた。

森の王国を作ろう・・・420分

雨の影響が心配される天気となったため、活動場所を体育館に設定。制作に使う材料や道具は、班ごとにレクリエーションをクリアすることで、引換券を渡されるというルールになっており、製作の準備段階から班ごとに力を合わせて、活動を行っていた。

王国探検・・・120分

各班で製作した建物には、イルミネーションも施され、照明を消した体育館の中で、製作した建物を班ごとに鑑賞してまわった。互いに頑張りを認め合い、称え合う時間となった。人気投票を行い、上位チームの発表後には、工夫点などの感を聞き合った。

さよならパーティー・・・180分

前日までに制作した制作物を、全員で片付けて、振り返りを行い、スタッフの用意した手作りデザートを、班ごとにいただいた。楽しかったキャンプをふり振り返りながら、最後の思い出を共有した。



成果

異年齢での共同生活、新しいことにチャレンジする楽しさや、仲間と話し合い協力することの大切さ、素晴らしさなどを学ぶ体験活動を展開することができた。

将来は高校生ボランティアになったり、教職に就いたりすることを考えるきっかけになったという感想が複数あり、このキャンプでの活動がもつ意義や影響力を改めて感じた。

参加者の声

自分でやらなきゃいけないことが多いから大変だったけれど、全部自分でできた。これからは、自分でできることを、自分でやりたい。とてもいい作品になったと思う、自分たちのところに、いっぱい見に来てくれたのも、うれしかった。

この先、高校生などになって、ボランティアに参加もしてみたい。



事業運営のツボ・工夫・反省

全道の子ども会活動におけるリーダー研修の拠点としての利用だったが、今後の野外炊事やテント泊などの活動も視野に入れて事務局と協議を行っている。全道規模の青少年団体との連携は、体験活動の更なる普及に向けて大きな意義があり、双方が知恵を出し合い、よりよい事業とすることをめざして、今後も連携を深めていきたい。

事業運営費	合計	246,262 円 (北海道「体験の風をおこそう」運動推進協議会の負担分)
借上げバス代		64,800 円
ボランティア旅費(高速バス代)		17,510 円
通信運搬費		9,512 円
印刷費		154,440 円